

②

平成 30 年度
当初予算案の主要事業

平成 30 年 2 月

浜 松 市

目 次

(1)	販売用市政映画DVD制作事業	広聴広報課	1
(2)	浜松市総合計画推進事業	企画課	2
(3)	外国人学習支援センター運営事業	国際課	3
(4)	地域共生推進事業	国際課	4
(5)	〈新規〉国際戦略プラン策定事業	国際課	5
(6)	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を契機 としたUD推進事業	ユニバーサル社会・男女共同参 画推進課	6
(7)	はままつNAOTORAプロジェクト	ユニバーサル社会・男女共同参 画推進課	7
(8)	〈新規〉ICT戦略推進事業	情報政策課	8
(9)	市民協働推進事業	市民協働・地域政策課	9
(10)	地域施設管理運営事業	市民協働・地域政策課	10
(11)	市内間交流事業	市民協働・地域政策課	11
(12)	移住促進空き家活用事業	市民協働・地域政策課	12
(13)	音楽イベントの開催	創造都市・文化振興課	13
(14)	浜松国際ピアノコンクール開催事業	創造都市・文化振興課	14
(15)	第20回アジア・太平洋吹奏楽指導者協会大会事業	創造都市・文化振興課	15
(16)	浜松版アーツカウンスル事業	創造都市・文化振興課	16
(17)	〈新規〉2020文化プログラム推進事業	創造都市・文化振興課	17
(18)	〈新規〉仮称市民音楽ホール整備事業	創造都市・文化振興課	18
(19)	アクトシティ浜松施設整備事業	創造都市・文化振興課	19
(20)	〈新規〉ビーチ・マリンスポーツ事業化計画策定事業	スポーツ振興課	20
(21)	ブラジルホストタウン交流事業	スポーツ振興課	21
(22)	浜北平口サッカー場人工芝設置工事	スポーツ振興課	22
(23)	浜松科学館大規模改修	創造都市・文化振興課	23
(24)	〈新規〉二俣城跡・鳥羽山城跡保存活用計画策定事業	文化財課	24
(25)	美術館及び秋野不矩美術館展覧会	美術館	25
(26)	地域福祉計画策定事業	福祉総務課	26
(27)	〈新規〉成年後見制度利用促進事業	福祉総務課	27
(28)	コミュニティソーシャルワーカー配置支援事業	福祉総務課	28

(29)	〈新規〉基幹相談支援等事業	障害保健福祉課	29
(30)	重度障害者（児）医療費助成事業	障害保健福祉課	30
(31)	障害者施設整備費助成事業	障害保健福祉課	31
(32)	認知症施策推進事業	高齢者福祉課	32
(33)	〈新規〉生活支援活動の場づくり事業	高齢者福祉課	34
(34)	子ども・子育て支援及び若者支援計画に係るニーズ調査	次世代育成課	35
(35)	学習支援事業	子育て支援課	36
(36)	母子家庭等医療費助成事業	子育て支援課	37
(37)	特定教育・保育施設運営事業	幼児教育・保育課	38
(38)	特定地域型保育事業所運営事業	幼児教育・保育課	39
(39)	〈新規〉保育士等確保対策費助成事業	幼児教育・保育課	40
(40)	認証保育所助成事業・認証保育所利用者助成事業	幼児教育・保育課	41
(41)	私立保育所等施設整備費助成事業	幼児教育・保育課	43
(42)	保育所等利用待機児童の解消	幼児教育・保育課	44
(43)	中山間地域介護サービス利用支援事業	介護保険課	46
(44)	介護人材確保対策事業	介護保険課	47
(45)	がん対策推進計画関連事業	健康医療課	48
(46)	〈新規〉浜松市災害医療情報ネットワーク構築事業	健康医療課	49
(47)	自殺対策推進事業	健康医療課、精神保健福祉センター	50
(48)	看護専門学校移転事業	看護専門学校	51
(49)	浜北斎場拡張整備事業	市民生活課	52
(50)	〈新規〉産婦健康診査事業	健康増進課	53
(51)	〈新規〉新生児聴覚スクリーニング検査助成事業	健康増進課	54
(52)	〈新規〉特別な理由による任意予防接種費用助成事業	健康増進課	55
(53)	健康寿命延伸を目指した新たな健康づくりの取組	健康増進課、国保年金課、高齢者福祉課	56
(54)	難病患者等支援事業	健康増進課	57
(55)	健康はままつ21計画関連事業	健康増進課	58
(56)	食育推進計画関連事業	健康増進課	60
(57)	〈新規〉健康増進団体応援事業	健康増進課	61
(58)	〈新規〉ノルディック・ウォーク健康増進事業	健康増進課	62

(59)	新清掃工場整備事業	廃棄物処理課	63
(60)	地区別ごみ減量推進事業	ごみ減量推進課、廃棄物処理課	64
(61)	生ごみ排出削減促進事業	ごみ減量推進課	65
(62)	〈新規〉資源物集団回収団体向け特別協力金交付事業	ごみ減量推進課	66
(63)	平和最終処分場施設整備事業	平和清掃事業所	67
(64)	〈新規〉省エネ家電普及促進キャンペーン事業	環境政策課	68
(65)	地球温暖化対策実行計画（事務事業編）改定事業	環境政策課	69
(66)	市有施設のLED照明導入促進事業	環境政策課	70
(67)	産業人財獲得事業	産業総務課	71
(68)	農業委員会新体制への移行	農業委員会事務局	72
(69)	農業振興基本計画策定事業	農業水産課	73
(70)	農商工連携・6次産業化推進事業	農業水産課	74
(71)	農業農村地域活性化事業	農業水産課	75
(72)	農業経営塾開催事業	農業水産課	76
(73)	食と農の地域ブランド推進事業	農業水産課	77
(74)	〈新規〉GAP等認証取得支援事業	農業振興課	78
(75)	農業振興地域制度管理事業	農地利用課	79
(76)	〈新規〉耕作放棄地等地域活動支援事業	農地利用課	80
(77)	〈新規〉優良畑地シェアリング促進事業	農地利用課	81
(78)	排水機場樋門等の地震・津波対策	農地整備課	82
(79)	〈新規〉天竜材ぬくもり空間創出事業	林業振興課	83
(80)	〈新規〉日本の木材活用リレー推進事業	林業振興課	84
(81)	天竜材流通・販路拡大事業	林業振興課	85
(82)	〈新規〉天竜材ユーザー開拓推進事業	林業振興課	86
(83)	林業成長産業化推進事業	林業振興課	87
(84)	中小企業金融支援事業	産業総務課	88
(85)	〈新規〉事業承継支援事業	産業総務課、産業振興課	89
(86)	新・産業集積エリア整備事業	産業総務課	90
(87)	産業イノベーション支援事業	産業振興課	91
(88)	〈新規〉新産業創出支援事業	産業振興課	92

(89)	先端技術活用促進事業	産業振興課	93
(90)	成長産業創出支援事業	産業振興課	94
(91)	〈新規〉EVシフト対応支援事業	産業振興課	95
(92)	海外ビジネス展開支援事業	産業振興課	96
(93)	ベンチャー支援事業	産業振興課	97
(94)	〈新規〉自動運転やらまいかプロジェクト事業	産業振興課	98
(95)	はままつトライアルオフィス運営事業	産業振興課	99
(96)	〈新規〉舞阪サテライトオフィス運営事業	産業振興課	100
(97)	企業立地促進助成事業	産業振興課	101
(98)	スマート・エネルギー推進事業	エネルギー政策課	102
(99)	創エネ・省エネ・蓄エネ型住宅推進事業	エネルギー政策課	103
(100)	風力発電ゾーニングモデル事業	エネルギー政策課	104
(101)	浜名湖観光圏整備推進支援事業	観光・シティプロモーション課	105
(102)	〈新規〉DESTINATIONキャンペーン推進事業	観光・シティプロモーション課	106
(103)	浜松・浜名湖DMO形成支援事業	観光・シティプロモーション課	107
(104)	インバウンド推進事業	観光・シティプロモーション課	108
(105)	シティプロモーション事業	観光・シティプロモーション課	109
(106)	〈新規〉魅力発信拠点施設管理運営事業	観光・シティプロモーション課	110
(107)	ふるさと納税事業	観光・シティプロモーション課	111
(108)	道路・街路・河川事業一覧	道路企画課、道路保全課、 河川課	112
(109)	公共建築物長寿命化推進事業	公共建築課	113
(110)	公共建築物耐震化推進事業	公共建築課	114
(111)	浜松市交通事故ワースト1脱出事業	道路企画課	115
(112)	〈新規〉道路標識ナンバリング整備事業	道路企画課	116
(113)	原田橋整備事業	道路保全課	117
(114)	橋りょう長寿命化事業	道路保全課	118
(115)	橋りょう耐震補強事業	道路保全課	119
(116)	〈新規〉浜松駅周辺自転車等駐車場整備計画策定事業	道路保全課	120
(117)	〈新規〉弁天島駅北自転車駐車場再整備事業	道路保全課	121
(118)	高塚川流域浸水対策アクションプラン	河川課	122

(119)	浜松市総合雨水対策計画	河川課	123
(120)	新・都市計画マスタープラン調査検討事業	都市計画課	124
(121)	都市計画区域マスタープラン調査検討事業	都市計画課	125
(122)	立地適正化計画調査検討事業	都市計画課	126
(123)	〈新規〉浜松版スマートタウン開発支援事業	土地政策課	127
(124)	〈新規〉歴史まちづくり基本方針策定業務委託	土地政策課、文化財課	128
(125)	総合交通計画の見直し	交通政策課	129
(126)	浜松駅北口周辺バリアフリー化事業	交通政策課	130
(127)	浜松駅南口周辺改良事業	交通政策課	131
(128)	I C Tシステムによる地域バス等実証運行事業	交通政策課	132
(129)	〈新規〉地域公共交通活性化研究会支援事業	交通政策課	133
(130)	鉄道駅バリアフリー化設備整備費助成事業	交通政策課	134
(131)	旭・板屋A地区第一種市街地再開発支援事業	市街地整備課	135
(132)	常盤町西街区優良建築物等整備支援事業	市街地整備課	136
(133)	天竜川駅周辺整備事業	道路企画課	137
(134)	舘山寺総合公園整備事業	緑政課	138
(135)	〈新規〉森守チャレンジ協働事業	緑政課	139
(136)	（仮称）万斛公園（旧鈴木家屋敷）整備事業	公園課	140
(137)	浜松城公園整備事業	公園課、公園管理事務所	141
(138)	遠州灘海浜公園篠原地区東調査事業	公園課	142
(139)	公園施設長寿命化事業	公園管理事務所	143
(140)	いのちのふれあいゾーン整備事業	動物園	144
(141)	〈新規〉消防指令管制システム中間更新事業	情報指令課	145
(142)	〈新規〉浜松第27分団庁舎改修事業	消防総務課	146
(143)	分団庁舎女性対応化改修事業	消防総務課	147
(144)	〈新規〉防潮堤整備に対する負担金	危機管理課	148
(145)	防潮堤土砂確保事業	危機管理課、道路企画課	149
(146)	〈新規〉災害情報手段整備事業	危機管理課	150
(147)	防災学習施設整備・管理運営事業	危機管理課	151
(148)	コミュニティ・スクール推進事業	教育総務課	152

(149)	放課後児童会運営支援事業	教育総務課	153
(150)	放課後児童会施設整備事業	教育総務課	154
(151)	〈新規〉部活動指導員の配置	指導課	155
(152)	〈新規〉タブレットを利用した外国語相談	指導課	156
(153)	不登校児支援推進事業	指導課	157
(154)	やらまいか教育推進事業	指導課	158
(155)	〈新規〉校務アシスタントの配置	教職員課	159
(156)	教育指導員等配置事業一覧	教職員課、指導課、 幼児教育・保育課	160
(157)	学校建設一覧	教育施設課	161
(158)	〈新規〉小中学校空調整備事業	教育施設課	162
(159)	〈新規〉市立幼稚園空調整備事業	幼児教育・保育課	163
(160)	国民健康保険制度の改正について (国民健康保険事業特別会計)	国保年金課	164
(161)	ロコモーショントレーニング事業 (介護保険事業特別会計)	高齢者福祉課	165
(162)	ささえあいポイント事業 (介護保険事業特別会計)	高齢者福祉課	166
(163)	浜松医療センター整備事業 (病院事業会計)	病院管理課	167

※事務分掌の変更や組織改正により所管課が変更となる場合があります

販売用市政映画DVD制作事業

企画調整部広聴広報課(電話:457-2021)

1 目的

昭和 34 年から制作が始まった「市政映画」の貴重な過去の動画を家庭用機器で視聴できるように市民向けに販売することにより、高度成長期の浜松を知ってもらい、郷土愛の醸成を図る。

2 背景

- ・昭和 34 年から制作が始まった「市政映画」は、ケーブルテレビで市の放送が始まる平成 6 年まで制作され、現在ケーブルテレビでの放送や市のホームページ上で公開している。
- ・平成 29 年 12 月 18 日に DVD 貸出の報道発表を行ったところ、市民や民間企業、宿泊施設等から販売の要望が多数寄せられた。

3 事業内容

(1) 販売用 DVD の制作

- ・動画キャプチャ・変換作業
- ・販売用「市政映画パッケージ」制作

(2) 市政映画全 40 巻（予定）の販売

- ・市政映画（昭和 34 年～昭和 63 年 137 タイトル）全 40 巻（予定）を 1 セットとして市民向けに販売。

販売価格 @10,000 円×100 セット

4 事業費 661 千円

※市政広報事業 197,248 千円の一部

- ・委託料 661 千円（キャプチャ編集費、販売用 DVD 制作費）

浜松駅に新幹線が初めて
やってきた映像



浜松まつりが現在の中区
和地山にある「和地山公
園」で行われていた映像

浜松市総合計画推進事業

企画調整部企画課(電話:457-2241)

1 目的

浜松市の総合計画を推進するとともに、統計データの積極活用を推進することで、本市の強みや弱みを的確に把握し、一層の有効な政策展開を目指す。

2 背景

- ・平成26年12月に策定した「浜松市総合計画」(計画期間:30年)の適正な評価を行い、PDCAサイクルによる経営資源の重点化を進めなければならない。
- ・地方創生では、地方自治体がそれぞれの地域資源を最大限活用し、地域特有の課題を解決することが求められている。

3 事業内容

(1) (新規) 総合計画検証事業

平成26年度に策定した「浜松市総合計画」における基本計画について、計画期間の中間年にあたる平成31年度に見直しを行うため、統計データを基に政令指定都市20市との比較等により、本市の強み・弱み・機会・脅威を整理し、解決すべき課題や集中すべき方針を導き出す。

(2) (新規) 政策立案及び検証における統計データ活用推進事業

- ・政策立案等への統計データ活用推進の基盤整備。

庁内全課を対象とした研修を実施し、市全体の政策立案や検証への統計データ活用に対する理解促進を図るとともに、専門家への相談や助言等を容易に得られる環境を整備する。加えて国等が実施する関連研修に企画課職員を受講させ、リード役としてスキルアップを図る。

- ・統計データ活用推進体制構築に向けた先進事例の調査研究。

本市の政策立案等への統計データ活用等に資する先進事例の調査研究を行う。

4 事業費 10,946千円

- | | |
|-----------|--------------------------|
| ・委託料 | 5,000千円 (総合計画検証事業) |
| ・旅費 | 1,546千円 (政策研究調査用旅費等) |
| ・需用費 | 1,179千円 (政策形成調査に係る参考図書等) |
| ・報償費 | 740千円 (講師謝礼) |
| ・使用料及び賃借料 | 493千円 (タブレット賃借料等) |
| ・その他 | 1,988千円 |

外国人学習支援センター運営事業

企画調整部国際課(電話:457-2359)

1 目的

外国人の子供から大人までを対象とした総合的な学習支援の拠点施設である外国人学習支援センターについて、今までの日本語学習支援講座等の業務の充実を推進する一方、職員が行っていた施設管理業務を民間に委託し、業務の効率化を図る。

2 背景

- ・事業の廃止及び見直しのための自己点検を実施し、日本語学習支援講座等の運営業務に加え、施設管理を含めた委託化を決定。

3 事業内容

(1) 外国人学習支援センター管理運営委託

- ・外国人市民を対象とした講座等の運営業務。

日本語学習支援講座、日本語学習等支援者養成事業、多文化理解・交流事業、外国につながる次世代の学習支援事業など。

- ・施設管理業務

施設管理スタッフを配置し、建物の管理を委託。

(2) 施設内設備改修工事費

- ・1階女子トイレの洋式化工事。
- ・エアコン設置に伴う電気工事。

4 事業費 65,746千円

- ・委託料 57,214千円 (管理運営委託等)
- ・工事費 3,008千円 (トイレ改修、電気工事費)
- ・その他 5,524千円 (光熱水費、リース料等)

地域共生推進事業

企画調整部国際課(電話:457-2359)

1 目的

本市に多数居住し地域社会の構成員である外国人市民は、地域経済を支えるとともにまちづくりを進める重要なパートナーであるため、日本人市民にも外国人市民にも暮らしやすい浜松型の多文化共生社会づくりを推進する。

2 背景

- ・外国人市民の定住化・多国籍化が進み、多言語対応の必要性は一層増加している。
- ・「第2次浜松市多文化共生都市ビジョン」の策定を契機に多文化共生社会の実現を目指すべくさまざまな施策に取り組むことが求められる。

3 事業内容

(1) (新規) タブレット端末を利用した多言語通訳事業

- ・窓口タブレット型情報端末を設置、テレビ通話機能付通訳クラウドサービスを通じて、市職員と来庁者、通訳者との同時会話を可能とする。
- ・通訳者が庁内に常駐していないタガログ語やベトナム語なども対応可能となる。

(2) (新規) 日本人市民及び外国人市民に関する意識実態調査事業

- ・外国人市民及び日本人市民へのアンケート調査を実施し、調査結果を多文化共生施策の基礎資料とする。

(3) (新規) やさしい日本語※をツールとしたコミュニケーション支援事業

- ・職員を対象とした研修を通じ、「やさしい日本語」を活用した情報提供の促進を図る。
- ・他都市における優良事例の収集・分析等を行うなど、「やさしい日本語」による効果的な伝達方法などの調査・研究を行う。

※：やさしい日本語とは、国籍や母国語を問わず、外国人市民にもわかりやすく、広く伝達可能な言葉

(4) (新規) 多文化共生功労者に対する表彰事業

- ・多文化共生に積極的・先進的・継続的に取り組む企業や団体、個人を表彰する。

4 事業費 9,402千円

- ・委託料 9,177千円 (各種事業委託費)
- ・その他 225千円 (講師謝礼、旅費、消耗品、郵便料等)

〈新規〉国際戦略プラン策定事業

企画調整部国際課(電話:457-2359)

1 目的

平成 30 年度に終期を迎える「浜松市国際戦略プラン」について、現行計画の取組状況を検証するとともに、グローバル化の進展や少子高齢化・人口減少社会の到来などの社会経済環境の変化に的確に対応し、アジアをはじめとした海外市場の活力を本市の活性化に繋げるため計画を改定する。

2 背景

- ・平成 25 年度に策定した現行計画は平成 30 年度末をもって 5 年間の計画期間が満了。
- ・現行計画の評価や課題の把握、幅広い声を聴取し、国際情勢の動向変化をはじめとした本市を取り巻く環境変化に対応した国際戦略が必要。

3 事業内容

(1) 計画概要

計 画 名：浜松市国際戦略プラン

期 間：平成 31 年度から平成 35 年度まで

内 容：本市の強みや特徴を生かした国際展開を推進するため方針・施策

(2) 業務内容

- ・戦略策定に向けた事前調査

海外諸都市と交流がある団体等へのアンケート及びヒアリング調査。

戦略プラン策定の基礎データとなる各種統計資料データの収集・分析。

- ・国際戦略プランの策定

国際分野を専門とする学識経験者との連携。

庁内関係課会議などとの連携。

4 事業費 1,272 千円

- ・委託料 1,080 千円 (アンケート・ヒアリング調査委託、データ収集・分析業務委託)
- ・その他 192 千円 (旅費、学識経験者への謝礼、郵便料、参考図書購入費 等)

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を契機としたUD推進事業

市民部ユニバーサル社会・男女共同参画推進課(電話:457-2364)

1 目的

観光・サービス事業者がユニバーサルツーリズム^{※1}への理解を深め、受入環境整備に向けて、官民連携で取り組むことで、誰もが訪れやすく、暮らしやすいまちづくりを推進する。

※1：ユニバーサルツーリズムとは、より多くの人を楽しめるように創られた旅行で、外国人や高齢者、障がい者など、誰もが気兼ねなく参加できる旅行

2 背景

- ・平成29年8月1日ブラジルパラリンピック委員会との事前キャンプ地に関する覚書の締結及び選手団受入に伴い、官民連携でスポーツ施設・宿泊施設のUD化等の受入環境整備に取り組んでいくため、ブラジルホストタウン庁内連携会議を設立。
- ・平成28年度からユニバーサルツーリズムの受入環境整備事業を実施し、平成30年度は最終年度。

3 事業内容

浜松市観光インフォメーションセンターへのユニバーサルツーリズムセンター^{※2}機能を付加すると共に、人材育成のためのセミナーや研修会を実施。

※2：ユニバーサルツーリズムセンターとは、ユニバーサルツーリズムに必要な「UD情報」及び「バリア情報」や外国人・障がい者等に対する支援・サポート情報等を収集・蓄積し、旅行者や旅行業者からの問合せや相談等に適切に対応できる機能を持った観光案内所

(1) ユニバーサルツーリズム啓発セミナー開催

- ・対象：観光・サービス事業者
- ・目的：ユニバーサルツーリズムへの理解を深め、協力していただくための意識付け

(2) ユニバーサルツーリズム推進人材育成研修会開催

- ・対象：インフォメーションセンター、拠点施設職員等
- ・目的：ユニバーサルツーリズムを推進するための人材育成

(3) 受入環境整備

ユニバーサルツーリズムガイドブック多言語版印刷、ベビーカー・車椅子の貸出、関係団体との連携体制強化等。

4 事業費 1,291千円

※ユニバーサルデザイン推進事業6,211千円の一部

- ・需用費 698千円 (消耗品、印刷製本費)
- ・報償費 400千円 (講師謝礼)
- ・使用料及び賃借料 173千円 (会場借上料)
- ・役務費 20千円 (損害保険)

はままつNAOTORAプロジェクト

市民部ユニバーサル社会・男女共同参画推進課(電話:457-2561)

1 目的

一人ひとりが、ワーク・ライフ・バランスを正しく理解し、職場や家庭、地域社会等における責任を果たすとともに、多様な活動に従事できるよう、地域におけるワーク・ライフ・バランスの一元的な推進を図る。

2 背景

- 平成 29 年 11 月、官民が連携した実行委員会により、女性の活躍と男性の働き方の見直しをテーマにした「NAOTORA 女性サミット」を開催し、仕事と生活との調和がとれる社会の実現に向け行動していくことを宣言。
- ワーク・ライフ・バランスの推進は、企業における生産性の向上や優秀な人材を確保するための経営戦略として、その取組が重要な課題。
- 国は、長時間労働解消などの働き方改革について、法制化を準備。

3 事業内容

No.	事業名	事業内容	対象
1	(新規)ワーク・ライフ・バランス等推進プロジェクト	「経営者・管理職」を対象とした働き方改革関連セミナー及び「働く女性」を対象とした管理職育成セミナーを開催。また、誰もが活躍できる職場づくりを支援するため、先進的な取組事例の発表会等を実施	経営者、管理職 働く女性 等
2	ワーク・ライフ・バランス等推進事業所認証事業	ワーク・ライフ・バランスや女性の活躍支援に取り組む事業所を認証し、その取組を紹介	市内事業所
3	ワーク・ライフ・バランスアドバイザー派遣事業	男女がともに働きやすい職場づくりを支援するため、事業所にアドバイザーを派遣	市内事業所
4	働き女子のナイトミーティング	継続就労やキャリアアップを支援するための講座を開催	20代～30代の働く女性

4 事業費 6,650千円

※ワーク・ライフ・バランス推進事業6,650千円

- 委託料 4,800千円 (セミナーや女性管理職育成講座等の事業実施にかかる委託料)
- 報酬費 1,500千円 (ワーク・ライフ・バランス等推進事業所認証事業調査等にかかる謝礼)
- その他 350千円

〈新規〉ICT戦略推進事業

企画調整部情報政策課(電話:457-2721)

1 目的

情報化通信技術（ICT）を活用した地域社会の実現を目指した、情報化に関する調査研究を進める。また、情報システムの品質・セキュリティの確保の観点から、庁内の情報通信機器の調達
の適正化に努める。

2 背景

- ・近年ICTの発展が急速に進み、情報化を取り巻く環境は大きく変化。
- ・IoT^{※1}やAI^{※2}等の技術の進展、オープンデータ^{※3}やビッグデータ^{※4}等の活用は、新たな価値の創造により、地域経済の活性化や地域課題解決を図るための効率的・効果的な手段。
- ・ICT調達の企画案の実現方法・方向性や見積の妥当性をより適正に査定するためにはICTに関する高度な専門的知識が必要。

※1：IoTとは、「Internet of Things」の略で、「モノのインターネット」と呼ばれる。

自動車、家電、ロボット、施設などあらゆるモノがインターネットにつながり、情報のやり取りをすることで、モノのデータ化やそれに基づく自動化等が進展し、新たな付加価値を生み出す。

※2：AIとは「Artificial Intelligence」の略で、人工知能のことを指す。

※3：オープンデータとは、機械判読に適したデータ形式で、二次利用が可能な利用ルールで公開されたデータであり、人手を多くかけずにデータの二次利用を可能とするもののこと。

※4：ビッグデータとは、利用者が急激に拡大しているソーシャルメディア内のテキストデータ、携帯電話・スマートフォンに組み込まれたGPSから発生する位置情報、時々刻々と生成されるセンサーデータなど、ボリュームが膨大であると共に、構造が複雑化することで、従来の技術では管理や処理が困難なデータ群。

出典：「総務省 平成28年版情報通信白書」より引用

3 事業内容

(1) ICT調達アドバイザー業務委託

- ア 企画案の実現方法・方向性及び見積精査業務
- イ 情報提供及び助言

- ・情報政策課が実施するICT調達支援業務における課題抽出及び改善案の提示
- ・ICT調達に関する有益な情報・参考資料等の提供

(2) 「浜松市情報化基本方針」策定

- ・平成30年度末に公表予定の「浜松市情報化基本方針」を策定
- ・「浜松市情報化基本方針」には重点取組として、ビッグデータやオープンデータ、AIの活用等を盛り込む

4 事業費 5,919千円

- ・委託料 5,400千円 (ICT調達アドバイザー業務委託)
- ・謝礼 270千円 (有識者に対する謝礼)
- ・その他 249千円 (旅費など)

市民協働推進事業

市民部市民協働・地域政策課(電話:457-2094)

1 目的

市民協働の理念を推進する環境整備として各種事業を実施することで、市民活動の活性化を図る。

2 背景

- ・浜松未来ビジョン（平成27年4月施行）において、“市民協働で築く『未来へかがやく創造都市・浜松』”を都市の将来像に掲げ、市民協働によるまちづくりを市の施策の柱に位置づけ。
- ・CSR（企業の社会的責任）活動を行う企業が増加しており、近年では、社会貢献活動を本業と一体で行うソーシャルビジネス^{*1}等を行う企業も増加。

※1：ソーシャルビジネスとは、ビジネスの手法を用いて社会的課題を解決するための取り組みを展開していくこと。

3 事業内容

(1) (新規) 社会を変えたい若者支援事業

継続的な社会貢献活動を実施する手法として「ソーシャルビジネス」に関するフォーラムなどを開催し、社会貢献活動に想いがある人が、一步を踏み出すきっかけを提供。

- ・フォーラム開催
- ・相談対応

(2) (新規) 市民活動団体の資金調達支援事業

クラウドファンディング^{*2}、寄附、金融機関からの借入れ、助成制度など具体的な資金調達に関する勉強会を開催。

※2：クラウドファンディングとは、個人や企業その他の機関が、インターネットを介してアイデアやプロジェクトを紹介し、それに共感・賛同する一般の人から広く資金を集める仕組み。

(3) 学生ボランティアネットワークセンター運営事業（以下、学ボラネット事業）

学生同士の情報交換や社会に情報発信する機会を設け、学生による学生支援を実施することにより、学生のボランティア活動を活発化し、将来の市民活動を担う人材を育成。

- ・場所：市民協働センター

(4) はままつ夢基金事業

寄附金を活用した市民活動団体への助成事業。

4 事業費 7,109千円

- ・負担金補助及び交付金 3,019千円（はままつ夢基金事業費補助金等）
- ・委託料 1,753千円（学ボラネット事業、社会を変えたい若者支援事業）
- ・報償費 650千円（講師謝礼等）
- ・その他 1,687千円（旅費、需用費等）

地域施設管理運営事業

市民部市民協働・地域政策課(電話:457-2094)

1 目的

協働センター等の地域施設の管理運営を地域組織に委ねることにより、地域コミュニティ活動の活性化を促進し、地域事情に応じた課題解決の仕組みを構築する。

2 背景

人口減少や高齢化が進む中、コミュニティの形成・維持は、今後ますます重要となるため、住民主体の地域づくりを進めていく上で、地域コミュニティの更なる活性化を図る必要がある。

3 事業内容

地域組織による管理運営モデル事業（3年間を目途とした業務委託）。

(1) (新規) 和地協働センター管理運営事業

貸館の受付や利用案内、生涯学習講座に係る事務、日常点検などの管理運営業務を、地域組織である（一社）和地地区コミュニティ協議会へ委託（モデル実施1年目）。

(2) 龍山森林文化会館管理運営事業

管理運営業務を地域組織であるNPO法人ほっと龍山へ委託（モデル実施2年目）。

(3) 労務研修会開催事業

管理業務受託により必要となる労務等に関する知識を習得する研修会を開催。

4 事業費 10,970千円

※自治会等コミュニティ振興事業13,363千円の一部

・委託料 10,970千円（施設管理運営業務委託等）

市内間交流事業

市民部市民協働・地域政策課(電話:457-2094)

1 目的

都市部と中山間地域との交流を促進することで、連携・協働による地域の自立、自治を促進させるとともに、交流をきっかけとした中山間地域の活性化を図る。

2 背景

中山間地域振興計画（平成27年度から平成36年度まで）の目標である「ひとつの浜松で築く中山間地域の未来」を達成するため、同計画の重点方針の柱としている“人の流れをつくる（市民同士の交流から生まれる地域づくりを推進）”による様々な交流機会を創出する取り組みを実施。

3 事業内容・事業費 16,748千円

(単位：千円)

NO.	事業名	内容	事業費
1	子ども中山間地域交流事業	都市部の子供（小学生等）を対象に、中山間地域の住民、生活、文化に触れる2泊3日程度の宿泊体験活動を実施	3,984
2	(新規) おとな中山間地域交流事業	都市部の自治会役員、青年団、お祭り、子供会など地域活動に取り組む大人が、中山間地域の各地域を訪問し、地域間交流を行う	2,281
3	ザ・山フェス開催事業	山とまちのコラボにより山の魅力を体感できるイベントを開催	3,000
4	中山間地域交流プロモーション事業	本市中山間地域を広く周知するため、PRポスター作成や新聞広告を掲出	1,089
5	まちむらりレーション市民交流会議事業	都市部と中山間地域の双方の異なる主体（NPO、地域団体、自治会、企業、個人等）の交流会議を開催	481
6	中山間地域交流ツアー	都市部親子を対象に、中山間地域の魅力を体感できるバスツアーを開催	228
7	中山間地域ラジオ発信業務	中山間地域の生活に密着した情報やイベント、観光情報を盛り込んだラジオ番組を浜松市全体に放送	1,705
8	(新規) 中山間地域山盛りアドベンチャー事業	中山間地域を舞台にした謎解きゲームを開催	380
9	(新規) 中山間地域応援隊事業	中山間地域の個々に生じている課題及びニーズを整理し、それらの課題解決に寄与できる都市部等の団体や個人を「中山間地域応援隊」として募り、相互にマッチングする	800
10	(新規) 山の匠体験講座事業	都市部の住民を対象に、中山間地域における地域の生活に根差した生業に関わる優れた技を持つ人物を講師とした体験講座を開催	800
11	(新規) 中山間地域特産品プロモーション事業	市中心部において、中山間地域が一体となって各地域それぞれの山の特産品を同時にプロモーションする	2,000

移住促進空き家活用事業

市民部市民協働・地域政策課(電話:457-2094)

1 目的

中山間地域における空き家の流通は少なく、需要(移住希望者)に供給が追いついていないことから、中山間地域内の空き家の活用を促進し、移住者の増加を図る。

2 背景

- ・現状では、空き家の管理が困難になり、改修が必要な段階で、売却・賃貸するケースが多いため、空き家の改修が不要な段階での売却・賃貸を進めてもらうことが、移住の促進及び空き家対策に有効。
- ・現行の補助制度では、改修が必要な空き家を対象としていることから、改修経費がかさみ、補助金が特定の移住者に限定され、移住促進の効果や空き家の利活用(流通)促進が十分にされていない。

3 事業内容

空き家の賃貸・売買契約を締結した空き家貸主(売主)に対する費用面の支援により、空き家の流通を促進する。

- ・新旧対照表

	現行	改正後
支援内容	・空き家の改修補助 ・空き家の家財道具の搬出处分及び屋内外の清掃補助	・空き家を移住者に提供(賃貸・売買)したことに対する謝礼
対象地域	中山間地域	中山間地域
対象者	空き家所有者又は移住する者	Welcome集落*内の空き家貸主(売主)
補助対象 限度額	1棟につき、改修 1,800千円 搬出等 300千円	—
補助率・ 補助金額	1/2 改修 900千円 搬出等 150千円	1棟につき、一律 200千円

※Welcome集落：移住者の受入れ活動する自治会を市が支援する制度

4 事業費 2,000千円

- ・報償費 2,000千円(謝礼)

音楽イベントの開催

市民部創造都市・文化振興課(電話:457-2417)

1 目的

音楽イベントの開催を通して、「音楽の都・浜松」を実現する。

2 イベント一覧 246,576 千円

(単位:千円)

No.	イベント名	事業費	内容・開催期間
1	第10回浜松国際ピアノコンクール	152,826	第10回コンクール及び関連事業の開催 平成30年11月8日から11月25日
2	第20回アジア・太平洋吹奏楽指導者協会大会	28,000	アクトシティ浜松等にてコンサート及びシンポジウムの開催等 平成30年7月19日から7月22日
3	まちなかコンサート	15,706	ギターを中心とした屋外吹奏楽コンサートの開催 4月から10月、計21回 など
4	浜松吹奏楽大会 2019	14,000	全日本高等学校選抜吹奏楽大会と全国中学生交流コンサートを開催 平成31年3月23日から3月24日
5	第24回浜松国際管楽器アカデミー&フェスティバル	10,000	管楽器に特化した音楽イベントの開催 平成30年7月31日から8月5日
6	第18回こども音楽鑑賞教室	9,000	市内小学5年生とプロオーケストラとの共演 平成31年2月20日から2月21日
7	第27回ハママツ・ジャズ・ウィーク	6,100	企業との共催によるジャズイベントの実施 平成30年10月20日から10月28日
8	さくま国際交流コンサート	2,644	元ウィーン・フィル管弦楽団のカール・ヤイトラー氏を招聘してのコンサートの開催等 平成30年9月から10月頃
9	オルガンミニコンサート	2,700	アクトシティ浜松中ホールのオルガンを使用したミニコンサート 年5回程度
10	「こころの劇場」ファミリーミュージカル	2,500	市内小学6年生を対象にアクトシティ大ホールにて劇団四季によるミュージカルを開催 平成30年6月12日から6月13日
11	2018 プラタナスコンサート	1,600	プラタナスの木をテーマとし、戦争の悲惨さを後世に語り継ぐコンサート
12	バークリー音楽大学コンサート	1,000	バークリー音楽大学の講師等による市民公開コンサート 平成31年2月頃
13	県民合唱祭	500	アクトシティ大ホールにて県内各地約50団体による合唱祭の開催 平成30年6月3日

浜松国際ピアノコンクール開催事業

市民部創造都市・文化振興課(電話:457-2417)

1 目的

世界の優秀な若いピアニストの発掘、育成とともに、市民に対し質の高い音楽を提供しながら「音楽の都・浜松」を発信する。

2 背景

- ・平成3年から3年に1度開催し、第3次予選及び本選は毎回ほぼ満席
- ・リアルタイムでの映像配信も行い、第9回コンクールでは77の国と地域で30万件以上ダウンロードの実績
- ・第9回コンクールの応募者数は過去最高の449人

区分	優勝者等	観覧者数
第7回大会 (平成19年度～平成21年度)	出場者85人 優勝者チョ・ソンジン	19,711人 (17日開催)
第8回大会 (平成22年度～平成24年度)	出場者73人 優勝者イリヤ・ラシュコフスキー	20,558人 (18日開催)
第9回大会 (平成25年度～平成27年度)	出場者72人 優勝者アレクサンデル・ガジェヴ	20,123人 (18日開催)

3 事業内容

- ・第10回浜松国際ピアノコンクールを開催

開催期間 平成30年11月8日(木)から11月25日(日)

オープニングコンサート	11月7日(水)
予選(1次～3次)	11月9日(金)から20日(火)
本選	11月23日(金・祝)から24日(土)
入賞者披露コンサート	11月25日(日)

- ・第10回コンクール開催記念事業を会期前に開催
9月16から17日に第10回開催記念ガラ・コンサートの開催
- ・コンクール開催前、開催中にスクールコンサート、シティーコンサート等各種イベント実施
- ・実行委員会、運営委員会を年3回程度開催し、事業内容を協議

4 事業費 152,826千円

(財源: 基金繰入金 130,000千円)

- ・負担金補助及び交付金 152,826千円

第20回アジア・太平洋吹奏楽指導者協会大会事業

市民部創造都市・文化振興課(電話:457-2417)

1 目的

アジア圏内における吹奏楽のレベル向上及び吹奏楽に携わる人々の交流を図るため、吹奏楽に関する研究発表、講演、コンサート等を2年毎に企画・開催しているアジア・太平洋吹奏楽指導者協会大会(APBDA)の第20回大会を2018年(平成30年度)に浜松で開催する。

2 背景

- ・平成25年8月に韓国・済州島で開催されたAPBDA理事会において、第20回大会の浜松開催が決定。
- ・平成27年7月に中国・北京で開催されたAPBDA理事会に平成30年度の開催都市として参加。
- ・平成29年7月に浜松にてAPBDA理事会を開催。

3 事業内容

平成30年7月19日から22日の4日間に、市内各地で下記事業を開催

(1) シンポジウム (10か国3地域)

7月21日 アクトシティ浜松コンgresセンターにて吹奏楽に関するシンポジウムを開催

(2) コンサート (6か国3地域、26団体を予定)

7月19日 アクトシティ浜松中ホールにてオープニングコンサートを開催

7月20日 浜北、雄踏、三ヶ日にてサテライトコンサートを開催
ソラモにてプロムナードコンサートを開催

7月21日～22日

アクトシティ浜松大ホールにてメインコンサートを開催

※浜松市ユース選抜吹奏楽団による演奏を予定

(3) 理事会 (10か国3地域)

7月20日 アクトシティ浜松コンgresセンターにて理事会を開催

4 事業費 28,000 千円

- ・負担金補助及び交付金 28,000 千円 (コンサート開催等に伴う負担金)

浜松版アーツカウンシル事業

市民部創造都市・文化振興課(電話:457-2417)

1 目的

浜松版アーツカウンシルとしての中間支援組織を設置することにより、文化活動がもたらす効果を観光振興、教育、福祉等に波及させ、文化活動の経済的自立及び地域課題解決に向けた活用を目指す。

※アーツカウンシルとは高い専門性を持つスタッフが、芸術文化の振興を目的に、各種芸術文化に対する支援を行う機関

2 背景

- ・国が示す「文化芸術の振興に関する基本的な方針」において、文化芸術の持つ創造性を地域振興、観光・産業振興等に活用し、地域課題の解決に取り組む活動を支援することが求められている。
- ・文化芸術部門の専門人材を起用し地方公共団体によるアーツカウンシルの設置など文化政策の推進体制の強化を目指す文化庁の支援方針が示されている。
- ・都市の将来像である「創造都市・浜松」の実現を目指すために、アーツカウンシル設置により、文化団体などの市民団体が自立的で活発な活動の継続を目指す。

3 事業内容

音楽に留まらない文化活動活性化を目指し、本市の文化活動の現状把握のための基礎調査及び現状分析を行うことで、浜松市の文化活動の活性化させる支援スキームを構築する。

(1) 中間支援組織の運営

専門人材としてのプログラムディレクター（菱沼妙子氏）及びプログラムオフィサーを登用し、浜松市文化振興財団の役割である中間支援機能の強化にむけて、財団内組織として運営

(2) 支援対象団体の基礎調査及び現状分析

市が支援基準及び支援内容を策定するための現状の支援対象団体の基礎調査及び現状分析を行うとともに、課題解決策を検討

(3) 支援事業の企画検討

市民が主体となって展開する創造的活動や文化芸術活動を支援する事業の検討

(4) リーディング事業の企画検討

東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会の文化プログラムを見据え、本市に相応しい文化事業の展開に向けた実施計画の立案

4 事業費 29,811 千円

- ・委託料 29,811 千円（中間支援組織の運営及び支援対象団体の基礎調査及び現状分析等）

〈新規〉2020文化プログラム推進事業

市民部創造都市・文化振興課(電話:457-2417)

1 目的

2020文化プログラム推進事業として市内文化団体事業を beyond2020 として認証するとともに仮称「歌と踊り響きの国際音楽祭 in 浜松 2020」を開催し、浜松市の文化を世界に発信する。

※beyond2020 とは 2020 年以降を見据え、日本の強みである地域性豊かで多様性に富んだ文化を活かし、成熟社会にふさわしい次世代に誇れるレガシーの創出に資する文化プログラム。

2 背景

- ・2020年の東京オリンピック・パラリンピックにあわせ、国をあげて日本固有の文化の魅力を世界に広く発信する文化プログラムを推進しており、beyond2020はその1つである。
- ・本市で開催しているピアノコンクールは世界的な評価を得ており、また、ユネスコ創造都市ネットワークへの参加とともに開催した世界音楽の祭典では、各国の音楽関係者と交流を深めるなど、音楽文化を世界規模で発信している。

3 事業内容

(1) 平成 30 年度の事業内容

- ・はままつ 2020 文化プログラム実行委員会の設置、音楽監督等への委嘱
キックオフイベント開催(制作スタッフの発表、トークイベント、音楽演奏やダンス実演等)
- ・beyond2020 プログラム認証事業
浜松市が認証組織として国に登録後、市内文化事業の認証を実施

(2) 平成 32 年度の事業内容

仮称「歌と踊り響きの国際音楽祭 in 浜松 2020」の開催

ア 開催期間：東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会の開催期間前後の連続した 9 日間

※オリンピック 7 月 24 日～8 月 9 日、パラリンピック 8 月 25 日～9 月 6 日

イ 開催内容：文化的多様性、共生社会の実現のため、市民公募による健常者や障がい者、ブラジル人や市内の子ども達による総合的なダンスパフォーマンスの公演を含む音楽祭とする

ウ 開催会場：アクトシティ浜松大・中ホールなど

4 事業費 10,500 千円(財源：国 5,158 千円)

- ・負担金補助及び交付金 10,500 千円
(仮称「歌と踊り響きの国際音楽祭 in 浜松 2020」キックオフイベント開催事業費、beyond2020 プログラムの認証事業費)

〈新規〉仮称市民音楽ホール整備事業

市民部創造都市・文化振興課(電話:457-2417)

1 目的

北区都田センター用地に仮称市民音楽ホールを整備し、市民の音楽文化活動や学習成果等の発表の場を創出する。

2 背景

- ・教育文化会館（はまホール）検証検討会の提言を踏まえ、創造都市政策における「浜松市市民文化創造拠点施設基本構想」（以下基本構想）を策定。
- ・基本構想の中で、施設整備は、浜松城公園東側の「賑わいと交流ゾーン」を候補エリアとしているが、元城小学校跡地の発掘やエリア計画の策定などを含む長期的な取り組みが必要。
- ・現在、1,000席以上の規模を要する利用がアクトシティ浜松及び浜北文化センターに集中し、利用団体の活動に支障が発生。
- ・アクトシティ浜松の学校団体による利用の増加により、アクトシティ浜松の本来果たすべき国際レベルの芸術に触れる機会を市民に提供する機能が低下。

3 事業内容

都田センター用地に市民音楽ホールを整備するため、地質調査及び建築設計業務委託の実施。

- ・建設場所：都田センター用地（北区新都田三丁目） 面積：約 30,000 m²
- ・施設規模：客席 1,500 席程度、多目的室 3 室、駐車場 450 台以上

4 事業費 150,660 千円

- ・委託料 150,660 千円（地質調査及び設計業務委託費）

5 スケジュール

- (1) 平成 29 年度～平成 30 年度 地質調査及び設計
- (2) 平成 31 年度～平成 32 年度 建設工事

アクトシティ浜松施設整備事業

市民部創造都市・文化振興課(電話:457-2417)

1 目的

アクトシティ浜松施設改修計画に基づき、施設の安全・安心な利用を図る。

2 背景

施設の老朽化に伴い平成 28 年 3 月に策定した 5 年間（計画期間：平成 28 年度から平成 32 年度）のアクトシティ浜松施設改修計画を基に、毎年度修繕箇所の優先順位及び金額を精査した上で改修を実施する。

3 主な事業内容

(単位：千円)

No.	工事名	事業費	工事内容
1	A ゾーン中央監視装置・自動制御機器部品更新工事	119,656	A ゾーン大ホール系統の中央監視装置、リモート盤、各種温度センサー・バルブ・計測機器類の更新
2	BC ゾーンガラスアーケードガラス交換・塗装工事	73,152	BC ゾーンガラスアーケードのガラス交換及び鉄骨の塗装
3	空調設備更新工事	60,524	駐車場換気ファン用フィルタ交換、給排気ファン整備、空調ポンプ交換
4	A ゾーン空調機整備工事	54,522	A ゾーン大ホール系統の空調機（ベルト・軸受・ベアリングの交換、コイル洗浄、さび補修等）

4 事業費 434,976 千円（財源：基金繰入金 400,000 千円）

※文化施設整備事業 450,643 千円の一部

- ・工事請負費 415,731 千円
- ・委託料 10,945 千円（設計業務、工事監理委託）
- ・負担金 8,300 千円（アクトシティ共用部分駐車場管制設備更新工事負担金）

〈新規〉ビーチ・マリンスポーツ事業化計画策定事業

市民部スポーツ振興課(電話:457-2421)

1 目的

本市を「ビーチ・マリンスポーツの聖地」とするために、競技実態の把握を行うとともに、施設整備の必要性、候補地を調査しビジネスモデルの事業化計画を策定する。

2 背景

- ・本市は、遠州灘、浜名湖、天竜川などの水環境に恵まれ、フィッシングやサーフィンなどが盛んな上、近年はビーチラグビーなどのスポーツ大会が開催され、利用が拡大。
- ・魅力ある資源のさらなる活用を図るため、遠州灘や浜名湖などにおける施設整備及びその後の活用の検討が必要。

3 事業内容

平成30年6月から11月までの期間で下記調査を実施し、12月までに計画策定。

(1) 調査内容

- ・浜松市におけるビーチ・マリンスポーツの現状と課題
- ・県内、県外の他都市の状況
- ・競技団体からのヒアリング
- ・対象施設、付属施設等の整備候補地の選定
- ・ビジネスモデルの構築

(2) 対象競技

- ・遠州灘及び浜名湖などにて活動する競技

4 事業費 5,400千円(財源:国 2,700千円)

※スポーツ普及・活性化事業10,657千円の一部

- ・委託料 5,400千円(計画策定のための競技団体からのヒアリング等の基礎調査)

ブラジルホストタウン交流事業

市民部スポーツ振興課(電話:457-2421)

1 目的

ブラジルオリンピック・パラリンピック委員会と事前合宿に関する覚書を締結したことから、事前キャンプの受け入れ体制を構築し市民とブラジル選手団との交流の機会を提供することで、オリンピック・パラリンピックのレガシーを市民と共有する。

2 背景

- ・平成 29 年 6 月にオリンピック委員会、平成 29 年 8 月にパラリンピック委員会と事前合宿に関する覚書を締結し、浜松が事前キャンプ地に決定。
- ・平成 32 年度の事前キャンプ受け入れに向けて、具体的事項を決める協定締結や視察対応及び連絡調整、またオール浜松体制の構築が必要。

3 事業内容

(1) ブラジル選手団受入体制の構築

- ・ブラジル浜松交流キャンプ開催支援事業 90,969 千円
オリンピック柔道、パラリンピック各競技等の事前キャンプ受け入れ業務委託
- ・ブラジル浜松交流キャンプ調整事業 9,237 千円
- ・ブラジルホストタウンアドバイザー事業 2,600 千円
ブラジル各競技団体との調整におけるアドバイザー業務委託
- ・ブラジルパラリンピック受入計画策定事業 14,200 千円

(2) 東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会の機運醸成

- ・アスリートフェスタ開催事業 10,000 千円
オリンピックやパラリンピアンを招聘し、アスリートパフォーマンスを披露

4 事業費 127,576 千円(財源:国 4,000 千円)

- ・委託料 91,584 千円 (ブラジル浜松交流キャンプ開催業務委託など)
- ・備品購入費 16,533 千円 (ブラジル浜松交流キャンプ開催用畳購入)
- ・使用料及び賃借料 11,536 千円
(ブラジル浜松交流キャンプ開催用トレーニング機器リース)
- ・その他 7,923 千円
(ブラジル出張旅費、アスリートフェスタ出場者謝礼など)

浜北平口サッカー場スポーツ広場人工芝設置工事

市民部スポーツ振興課(電話:457-2421)

1 目的

平口スポーツ広場の人工芝化を図ることで、スポーツ広場としての機能を向上させ、スポーツ振興に寄与する。

2 背景

利用者からは、平口サッカー場に隣接する平口スポーツ広場の再整備を求める要望がでており、人工芝化することで、雨天時にも利用可能となることや、サッカー場との連動性が高まる。

3 事業内容

浜北平口サッカー場スポーツ広場に人工芝を設置するための工事等の実施。

- ・設置場所：浜北平口サッカー場スポーツ広場（浜北区平口）
- ・工事期間：平成30年度から平成31年度まで

4 総事業費 358,900 千円

(1) 平成30年度事業費 181,300 千円（財源：市債 172,200 千円）

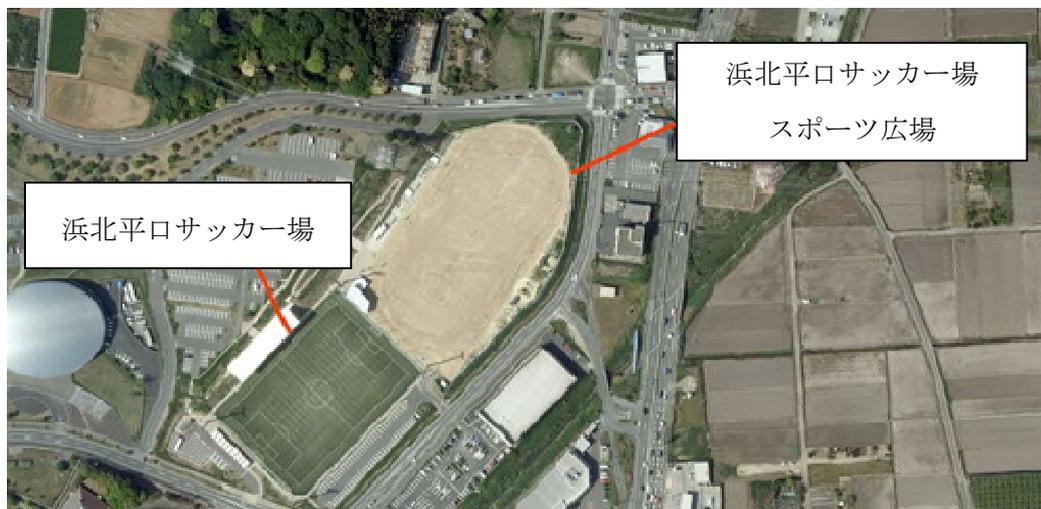
※スポーツ施設整備事業 551,566 千円の一部

- ・工事費 175,000 千円（人工芝設置工事費）
- ・委託料 6,300 千円（設計及び工事管理委託費）

(2) 債務負担行為

- ・事項 浜北平口サッカー場スポーツ広場人工芝設置事業費
- ・期間 平成30年から平成31年度まで
- ・限度額 177,600 千円

5 位置図



浜松科学館大規模改修

市民部創造都市・文化振興課(電話:457-2413)

1 目的

科学館の展示リニューアルと同時に開館 30 年を超え老朽化した施設の長寿命化のため大規模改修を行う。

2 背景

- ・浜松科学館は平成 30 年 5 月 1 日で開館 32 年となり、施設の老朽化が進行。
- ・平成 27 年度に検討会を設置し、展示リニューアル等の基本構想について検討。
- ・民間手法の導入と民間企業の協力により、展示リニューアルを実施し、平成 31 年 7 月 1 日にリニューアルオープン予定。

3 事業費 861,962 千円

※生涯学習施設整備事業 1,155,279 千円の一部

- ・工事費 842,338 千円
(外壁・空調・トイレ改修、エレベーター整備等)
- ・その他 19,624 千円 (工事監理委託料、工事関係手数料)

4 スケジュール

	平成29年度			平成30年度												平成31年度					
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月		
施設開館																				7月1日	
展示リニューアル	展示計画・設計・製作及び設置																				
施設整備						施設整備工事															
施設運営				【休館中はアウトリーチ活動を実施】 館外講座、出張授業 等												開館準備					

7月1日
リニューアルオープン
(予定)

〈新規〉二俣城跡・鳥羽山城跡保存活用計画策定事業

市民部文化財課(電話:457-2466)

1 目的

国史跡に指定される予定の二俣城跡・鳥羽山城跡を保護しつつ、積極的な活用により地域の活性化につなげるために、保存活用計画を策定する。

2 背景

- ・平成 29 年度中に二俣城・鳥羽山城跡が国史跡に指定される見込みであり、保存活用計画の策定により、国指定後の保護、活用・整備事業に国庫補助金の活用が可能となる。
- ・土地政策課等と連携し、国指定に合わせて、二俣地区を含む市内全域を対象とした「歴史まちづくり基本方針」を策定し、周辺の歴史的資源を生かしたまちづくりを目指す。

3 事業内容

- ・指定範囲内の土地の詳細な利用状況調査など、保存・管理に係る課題の抽出。
- ・公園利用実態調査、他都市の史跡公園整備状況の調査など活用に関する課題の抽出。
- ・史跡の保全方策及び今後の管理体制の検討。
 - ※「歴史まちづくり基本方針」及び「浜松市歴史的風致維持向上計画」重点区域候補地検討のための現地調査等の実施。

4 事業費 5,281 千円

(財源：国 2,596 円)

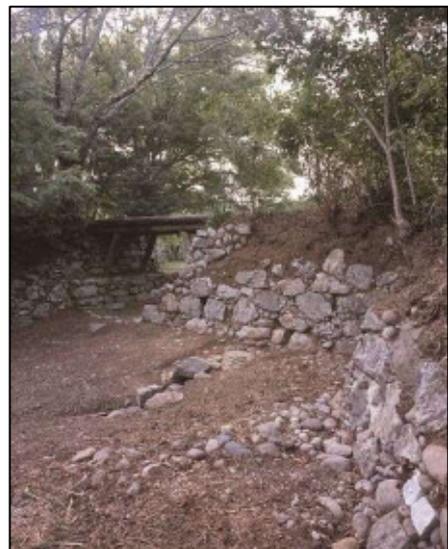
※史跡等整備活用事業 7,839 千円の一部

- ・委託料 4,725 千円 (保護活用のための基礎調査等)
- ・旅費 353 千円 (検討委員会旅費、職員旅費)
- ・報償費 203 千円 (検討委員会謝礼)

二俣城 天守台



鳥羽山城 東門跡



美術館及び秋野不矩美術館展覧会

市民部美術館(電話:454-6801)

1 目的

展覧会の開催を通して、市民の芸術文化の向上を図る。

2 イベント一覧

(1) 美術館 57,515 千円 ※美術館展覧会開催事業 59,557 千円の一部

平成 29 年度のトラックヤード増設等に伴う約 8 か月の休館を終え平成 30 年度は展覧会を通年開催。

(単位:千円)

No.	イベント名	H30	内容・開催期間
1	THE 日本洋画 150 年展	14,326	ウッドワン美術館が所蔵する岸田劉生、黒田清輝をはじめとする明治以降の巨匠から現代の作家の作品(洋画)を展示。フィンセント・ファン・ゴッホの初期作品《農婦》を特別公開。平成 30 年 4 月 14 日から 6 月 6 日
2	近藤喜文展	18,815	スタジオジブリの全面的な協力のもと「赤毛のアン」「火垂るの墓」など近藤喜文がかかわったアニメーション原画やイメージボードの展示。平成 30 年 6 月 23 日から 9 月 9 日
3	ドラマティック! 西洋絵画の世界展	15,204	山形市の山寺 後藤美術館が収蔵する 16 世紀バロック期から 19 世紀後半までの神話画や宗教画から、肖像画や静物画、そしてバルビゾン派の風景画に至る作品を展示。平成 30 年 9 月 22 日から 11 月 11 日
4	常設展	443	浜松市美術館の所蔵品の展示(常設展)及び平成 28・29 年度の市展における各部門大賞受賞者による個展を同時開催。平成 30 年 11 月 30 日から 12 月 13 日
5	浜松市芸術祭 第 66 回市展	1,785	美術の創作と鑑賞を勧め、郷土の文化・芸術の向上を図るため、広く市民から作品を募集し、入選した作品を展示。平成 31 年 2 月 1 日から 2 月 13 日
6	大城貞夫版画展& 浜松市美術館名品 セレクション展	6,942	浜松市美術館の名品展及び浜北区出身の創作版画家である大城貞夫の作品展を同時開催。平成 31 年 3 月 5 日から 3 月 31 日

(2) 秋野不矩美術館 44,089 千円

秋野不矩生誕 110 周年を記念した特別展の開催など秋野不矩に関連した展覧会を開催。

(単位:千円)

No.	イベント名	H30	内容・開催期間
1	所蔵品展	7,955	各回のテーマに沿って秋野不矩の画業を紹介。 ※平成 30 年度は生誕 110 周年のため期間 38 日増。 平成 30 年 4 月 1 日から 4 月 22 日、6 月 16 日から 7 月 29 日、 9 月 22 日から 10 月 28 日 平成 31 年 1 月 19 日から 3 月 3 日、3 月 5 日から 3 月 31 日
2	絵本にみる 日本画展	9,550	日本画家が描いた絵本原画から日本画の要素や技法を見出しつつ、絵本の特性を踏まえた独特の絵画表現を紹介。平成 30 年 4 月 28 日から 6 月 3 日
3	藤森照信展	13,950	自然素材を取り入れた独創的な建物を数多く手掛け、国際的にも高い評価を得ている藤森照信の建築設計の仕事を紹介。平成 30 年 8 月 4 日から 9 月 17 日
4	生誕 110 周年 秋野不矩展	12,634	秋野不矩の初期から晩年に至るまでの作品を通貫して展示し、自己の芸術を追い求めて邁進した創作活動の道筋を振り返る。平成 30 年 11 月 3 日から平成 31 年 1 月 14 日